

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 5 月 31 日

事業名称		生活保護事務費[生活保護事務事業]														
予算科目		款	3	民生費		項	3	生活保護費		目	1	生活保護総務費		事業番号	2	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)														
		☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの														
担当部署・課長名		生活福祉 課 庶務・保護第一・保護第二 係						課長名		川田 貴之						
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。												施策番号		2 - 5		
【施策名】 社会保障の充実												総合計画書(ページ)		63		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。						① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)									
	課職員						課の職員数									
	→															
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]適切な生活保護業務が遂行できる。						② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)都の指導検査の助言率									
	→															
3 経費	③ そのために何をしましたか。生活保護事務に必要な臨時職員等の雇用、消耗品等の購入、業務委託料などを計上。						③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)生活保護事務に必要な費用(賃金、需用費等)の総額									
	→															
		単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標								
				平成29年度実績		平成30年度実績		平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標				
対象指標		①の数値		人		22		22		22						
成果指標		②の数値		率		83%		53%		71%						
目 標		②の目標値		率		0%		0%		0%						
		目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 助言率0%を目指す。														
活動指標		③の数値		円		34,196,324		40,590,388		42,326,703						
事業費(実績)		円		34,196,324		40,590,388		42,326,703								
財源	一般財源		円		16,360,030		21,219,388		22,356,935							
	特定財源		円		17,836,294		19,371,000		19,969,768							
	(うち受益者負担)		円		0		0		0							
	人件費(再任用以外)		人		21.0		21.0		21.0							
	人件費(再任用)		人		1.0		1.0		1.0							
	職員人件費(再任用以外)		円		173,313,000		173,124,000		174,510,000							
職員人件費(再任用)		円		3,020,000		3,019,000		3,010,000								
事業費+人件費		円		210,529,324		216,733,388		219,846,703								
※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)																
4 課題		今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 特になし														
5 今後の方向性		仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 特になし														